

令和4年度 事業所による自己評価結果（公表）

事業所：ララスマイルあおば 事業：放課後等デイサービス 公表日：令和4年12月 回答数：6

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	特徴の異なる3つの部屋を使い分けている。また、個別対応や行事の際はホールも活用している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	4	2	0	法令を遵守し、ご利用者の状況等により加配での配置も行っている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0		冬期の正面玄関入口の坂や段差については、危険がないように対策する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	0	打合せ・ミーティング・振り返りの機会を設けている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	ご利用者・ご家族からの意見等は日々のミーティングで共有・検討している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	書面及びホームページでの公開を行っている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	2		現時点では第三者評価は実施を考えていないが、必要に応じて法人として検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	研修参加及び研修報告の実施。事業所内研修を行っている。	Zoomでの研修にも積極的に参加する。また、法人内・事業所内での研修内容も検討していく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	支援会議を実施のうえ計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	0	発達年齢・特性に応じたツールを作成している。	今後標準化されたものの使用を検討していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	毎日プログラム、活動内容、支援方法の検討を行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	//	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	6	0	0	目標やねらいがより明確になるように工夫している。	
	14	2	4	0	状況に応じた日課組み。 長期休暇時は日々できないような活動も計画している。	
	15	5	1	0	個別と集団活動を織り交ぜた活動プログラムを立案している。	必要に応じた個別活動機会を増やしていきたい。
	16	5	1	0	活動表を作成し、職員間で確認しながら打合せを行っている。	時差勤務の職員への引継ぎ方法は工夫が必要。
	17	5	1	0	支援の振り返りを行い、情報を共有している。	時差勤務の職員への引継ぎ方法は工夫が必要。
	18	2	3	1	記録はシステムと手書きなど、必要な記録が残せるよう工夫している。	共有のしやすさや、必要な記録の取り方の工夫が必要。
	19	5	1	0		
関係機関や保護者との連携	20	4	2	0		コロナ禍ということだけでなく、地域交流の視点は改善が必要。
	21	6	0	0	会議内容によっては2名体制で参加するなど、必要な検討ができるよう参加者の調整を行っている。	児童発達管理責任者だけでなく、必要に応じて、現場担当者も参加する機会を設けていく。
	22	6	0	0	保護者と学校から協力いただき、時間変更の事前確認を行っている。	
	23	1	3	2	現在対象なし。	
	24	4	2	0	ケースによって保育園への訪問を行った。	児童発達支援事業を利用していなかった児童の情報共有は課題だが、新潟市の入学支援ファイルを活用していく。
	25	2	2	2	現時点对象者なし。	ララスマイルでは行っているため、実施は可能。
	26	4	2	0	会議や電話連絡等で情報を共有している。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	6		直接関わる機会を検討していきたい。
	28	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	0		
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	連絡ファイル、お迎え時、面談の機会を通じて共通理解を図っている。	自宅送迎の際、直接伝えることができないことがある。電話連絡をするなど、より情報交換できるように工夫していく。
保護者への説明責任等	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	2	企画は検討しているが、コロナ禍ということもあって実現に至っていない。	より多くの方の参加や保護者間のつながりがもてるような企画を実施していく。
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2	0		
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	必要に応じて面談・家庭訪問を行っている	お迎え時でも相談しやすい環境づくりに努めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	苦情受付対応マニュアルを整備し、迅速に対応できる体制をとっている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	3	今後、おたよりの発行などを検討する。	行事や外出など前もってお知らせできるよう、計画的に実施していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	0	4		今後検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	職員会議で定期的に確認を行っている。保護者にも緊急時や感染症発生の際の対応について手紙を出している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年4回の避難訓練を行う。不審者対応についても実施	訓練の様子を保護者の方にも伝えていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	セルフチェックの実施。	法人での研修会を実施していく。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	41	身体拘束についての詳細を組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	3	1	2		虐待防止委員会で検討、作成中
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	2	現時点で対象者なし。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	日誌への記載。職員会議で事例や今後の対応について共有している。	

*この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。